

三菱保護継電器セールスとサービス

三菱高圧受配電用保護継電器MELPRO-Aシリーズの正面カバー 取扱注意のお知らせ

平素は三菱電機製品をご愛顧賜り有難う御座います。

さて、弊社製MELPRO-Aシリーズの2005年4月～2006年5月まで生産の継電器におきまして、継電器が稼働中（電源が入っている状態）、かつ湿度が低い状態（約40%以下）で、継電器の正面カバーを乾いた化学雑巾やウエスなどで清掃しますと、カバーに静電気が帯電し機能喪失に至ることがあります。

● **継電器の稼働中で湿度の低い時には、正面カバーの清掃を行わないでください。**

- ①清掃を行わなければ、継電器が自然に機能喪失することはありません。
- ②清掃を行っても、継電器が誤出力することはありません。
- ③継電器が稼働中に、人体が帯電した状態でカバーの開閉および表示切替や表示リセットなどの通常の操作を行っても影響はありません。
- ④カバーのよごれがひどく、清掃が必要な場合は、水で湿らせたウエスで拭き取って下さい。（ウエスは十分に絞って下さい）

● **巡視や定期点検の機会に継電器の機能が喪失していないことを2.項に記載の方法でご確認願います。**

● **清掃しても静電気が帯電しにくい交換用カバーをご希望される方は3.項の方法でご請求ください。**

—記—

1. 対象継電器

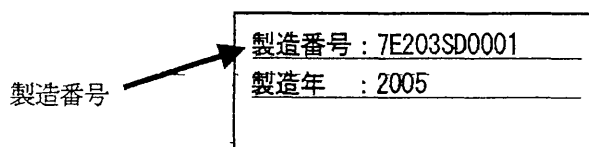
対象継電器は、2005年4月以降に稼働されているものとなります。詳細は表1の対象継電器の製造番号をご確認願います。

表1. 対象継電器一覧表

機 種 名	製 造 番 号
MOC-A1V-R/RD形、MOC-A1T-R/RD形	製造番号：□□□□□□■□□□□□ 下5桁目がD又はE↑
MDG-A1V-R/RD形、MDG-A2V-R/RD形 MOV-A1V-R/RD形 MVG-A1V-R/RD形、MVG-A2V-R/RD形	製造番号：□□□□□■□□□□□ 下5桁目がC又はD↑
MUV-A1V-R/RD形	製造番号：□□□□□■□□□□□ 下5桁目がD又はE又はF↘

継電器正面右下の定格名板に製造番号を記載しております。この製造番号が上表内に該当する場合は対象継電器となります。

図1：リレー定格名板表記例



[対象外継電器]

MGR-A1V-F、MGR-A1VB-F、MGR-A1V-R/RD及びMGR-A1T-Rは対象外です。

2. 現在ご使用中の対象継電器の状態確認の方法

現在ご使用中の継電器のRUNランプが点灯し正常に機能していることをご確認願います。

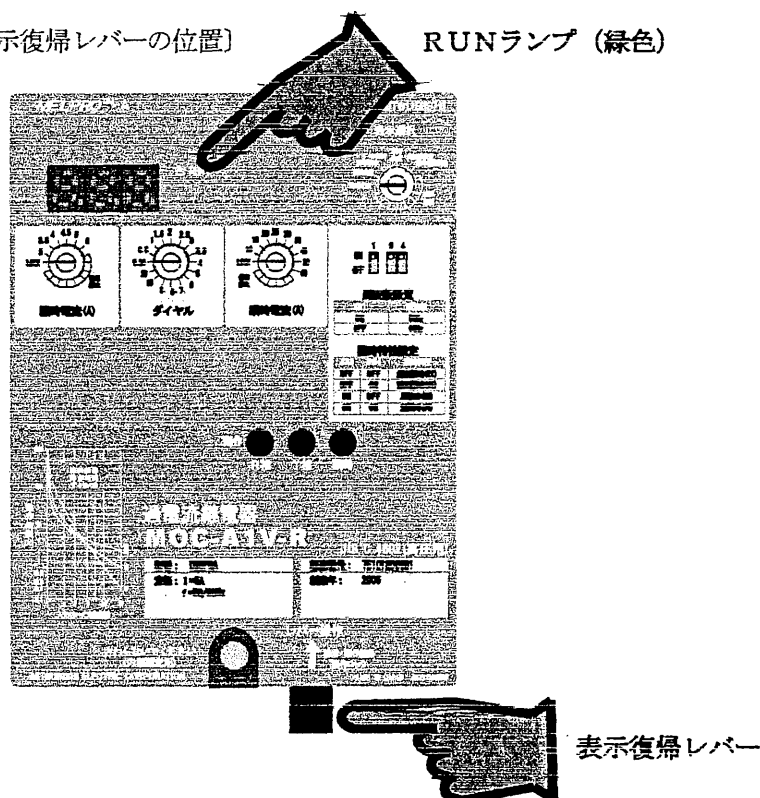
【注意】MOC形過電流継電器のご確認について

過電流継電器（MOC形）の場合は、CT 2次電流で内部電源を生成しており、CT 2次電流が約0.7A以下ではRUNランプが消灯します。この場合、継電器は正常です。なお、CT 2次電流の大きさが確認できない場合は、表示復帰レバーを押し上げてください。万一、本現象が発生していても、正常状態に回復します。

過電流継電器以外の継電器で、対象継電器のRUNランプが消灯している場合は、下記へご連絡をお願いします。

三菱電機株式会社「系統変電システム製作所」保護制御製造部品質管理課
TEL：078-992-2843 MELPRO-Aカバー対応窓口

〔RUNランプ及び表示復帰レバーの位置〕



3. 交換用カバーのご提供方法について

対象継電器でカバー交換をご希望される方は、下記連絡先までご一報ください。

FAX、メールをご利用の場合は、“交換用カバー希望”と記載願います。

(1) 連絡先

三菱電機(株)高圧受配電用保護継電器 窓口 TEL：078-996-7072

FAX：078-996-7074

メールアドレス：relay2.melco@ra.MitsubishiElectric.co.jp

(2) 交換用カバーのご提供期間

2006年10月16日～2008年10月30日

(3) 交換用カバーの識別

帯電防止タイプのカバーは、リレー正面より見て右下に「Anti-Static」の表示をしていますので、識別が容易にできます。

以上

対象継電器の回復処置方法

高圧受配電用保護継電器MELPRO-Aシリーズ(MGR形を除く)の2005年4月～2006年5月まで生産の継電器において、継電器が稼働中(電源が入っている状態)、かつ温度が低い状態(約40%以下)で、継電器の正面カバーを破いたウエスや化学繊維布などで清掃しますと、継電器温度が上昇に至ることがあります。この現象は清掃により正面カバーに静電気が帯電したことによるものです。お客様より、RUNランプのご連絡がありましたら、下記の方法にて回復処置を実施していただくようお願いいたします。

—記—

【回復処置の方法】

表1に示す回復処置をお願いします。
継電器の状態は基本的に正面のRUNランプで確認しますが、過電流継電器(OC)の場合は、CT二次電流で内部電源を生成しており、RUNランプだけでは電源が「切」なため、継電器が故障停止しているのか判断し難い場合がありますので、判断に迷う場合は表1に示す回復処置をお願いします。

表1 継電器の回復処置

シリーズ名	①制御電源の状態		②RUNランプの状態		継電器の状態	③回復処置方法
	点灯	消灯	点灯	消灯		
MOCシリーズ 全機種	CT二次電流 0.7A未満 もしくは 不明	点灯	点灯	正常	正常	処置不要
		点灯	消灯	異常	異常	表示復帰レバーを押し上げることによりRUNランプが点灯し正常状態となります
MUUVシリーズ 全機種	点灯	点灯	点灯	正常	正常	処置不要
		点灯	消灯	異常	異常	遮断器等への外部短絡回避のトリップロックを行い、(注1)制御電源を10秒以上OFFとしてください。その後制御電源をONとすることによりRUNランプが点灯し正常状態となります。
MDGシリーズ シリーズ MOVシリーズ MVGシリーズ 全機種	点灯	点灯	点灯	正常	正常	処置不要
		点灯	消灯	異常	異常	表示復帰レバーを押し上げることによりRUNランプが点灯し正常状態となります。

(注1) MUUVシリーズは電源を切りますと、遮断器の動作指令を出力しますので、必ず先にトリップロックしてください。

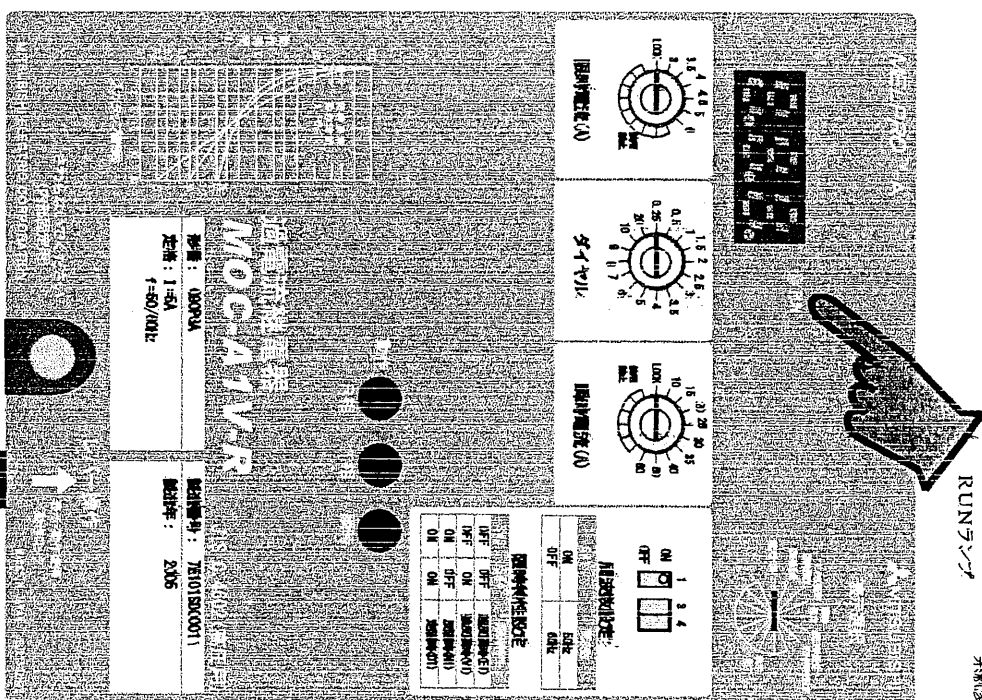


図1 継電器正面RUNランプと表示復帰レバーの位置

2006年9月4日
三菱電機株式会社
系統変電システム製作所
保安補償製造部